

相手の立場に立って物事を考えること。腕力ではなく、話し合うことでお互いの思いを理解し尊重し合うこと。そうした小さな平和を築いていくことで世の中の平和を守ることにつながると思います。そうして、一步ずつ多くの人を笑顔にすることを目標に行動していきます。

「環境」

インターネットなどを通して、気軽に商品が手に入る現在、大量購入がもたらすゴミの大量排出が問題になっています。景観や環境保持のために、国が行うような大規模な取り組みはできませんが、私たち中学生でも身近なことから変えることができます。

例えば、商品を購入する際、一度必要性を見直すことで計画的になります。今ある物を大切にし、使い続けるだけでもごみの排出量削減につながるのです。さらに現在、電気の使用量の多さも問題となっています。電気は目に見える物体ではない上に、電化製品はとても便利なため、一言で「節電」と言っても、私たちにとっては難しいことです。しかしこの小さな日々の積み重ねは何十年、何百年先の未来に繋がり、地球温暖化や資源枯渇などの問題を誘発します。これを念頭に置き、軽視されがちな「節電」に関しても「夏に水タオルを首にかける」など、まずは私たちができる小さな努力を心掛け、向き合うことが重要です。

未来を見据え、必要な時に必要なものを効率よく消費することで、今ある環境を守っていくことを目標に、自分事として行動していきます。

「未来へのメッセージ」

I C T技術などの発達によって、会って顔を合わせなくても済んでしまうことが多い世の中になってきています。しかし、実際に顔を合わせ、会話をしてこそ、相手のことを本当に理解することができると思います。

今年で20周年を迎えるこの瑞穂市は現在でも人口は増加傾向にあります。多くの人が瑞穂市の住みやすさを実感しています。その理由の1つに「あいさつ」があると思います。瑞穂市には様々な人が住んでいます。高齢者のかたにとっても、外国出身のかたにとっても、私たち若い世代にとっても、活気と笑顔があふれるまちにしていくには、「あいさつ」からはじまる「人と人とのつながり」が重要です。

私たちは、地域の多くのかたがたに見守られながら育ってきました。

私たち中学生にも地域のために貢献できることが沢山あると思います。

未来を担う私たちは、「あいさつ」によって広まる優しい気持ちやそれによって深まる「人と人とのつながり」を大切に、この温かい雰囲気を一市民として守り続けるとともに、地域のかたがたと手を取り合いながら、誰もが安心して生活ができる活気と笑顔があふれる虹色に輝く瑞穂市づくりに励んでいきます。